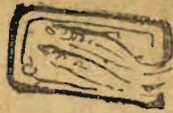




Title	一つのディレンマ
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Citation	岐阜新聞
Issue Date	1938-06-06
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/77281">http://hdl.handle.net/2115/77281</a>
Type	column
File Information	A025_01.pdf



[Instructions for use](#)



### 日曜隨想

或る縣の縣農會で半導的地位に居る一人の友人が先日ひよつこりやつて来て其縣農會でやつて居る活潑な色々の事々振りを話してくれた末に云ふには、「ですけれども、私は最近指導するのが極くなりました。どんな影響がどんな方面に表れるかと云ふ事を考へると實際農村指導は容易な事ではないと云ふ事がしきりに感じられます」

そこで二人其點を色々論じ合つた末最後に得た結論は今日の農村指導には根柢に缺けてゐるものがある。それは農村の都市化に對する指導者の根本的態度が定つて居ないと云ふ事である。其點が出来て居ない爲に今日の農村指導には一貫した力がない、そこに指導者の不安もあるのではあらうと云ふ事であつた。



今日農村は明らかに年毎に然り月毎に都市化の一面を辿つて居る。都市化とはこれを科學的に説明すれば随分複雑な問題であるが、要之農村人が都市人の様な生活態度を持つ様になる事である。更に離的に云へば商人的になる事である。算利計算を主とし傳説や情義より出来る丈はなれ、所謂資本主義的精神に従つて及ぶ限り個人主義的自由主義

## 一つのディレンマ

鈴木榮太郎

58

所謂農民道の掘起をもつて農村指導の大本と心得て居る世上農村の指導にあたる者の根本的方針は仔細に觀察して見れば多くは無意識的に右

的合理的態度を持するに至る事である。農村は明かに右の如き意味で都市化しつつある。これは實に大きな變化であるが、云はゞ吾人の面前で刻々に此變化は進みつつある。それをどう感たらよいか。問題はそこにある。或る人は農村の都市化は文化發展の自然の傾向で如何ともか。敢て謂者の疑念を促したい。農村社會學研究家

の二つの見解の何れかに片寄つて居る。或はかくの如き問題には無關心で無意識的に相矛盾する對策を同時に行つて居る。農村指導者が自己の指導の影響を兩面に考へ出した場合不安を感じるのは實に右の如き見解に對するはつきりした腹が決つてゐないからである。然らばどう感たらよいか。敢て謂者の疑念を促したい。農村社會學研究家



### 日曜隨想

或る縣の縣農會で指導的位置に居る一人の友人が先日ひよつこりやつて来て其縣農會でやつて居る活潑な色々の事を振り話をしてくれた末に云ふには、「で

今日農村は明らかに年毎に都市化の一途を辿つて居る。都市化とはこれを科學的に説明すれば充分明確な問題であるが、要之農人が都市人の様な生活態度を得つ標になる事である。更に確的に云へば商人的になる事である。營利打算を主とし傳統や情義より出来る丈はなれ、所謂資本主義的精神に従つて及ぶ限り個人主義的自由主義

もなし難いものであるから、都會の商人と立ち討ち出来る標に此都市化の傾向を強る敢然と促進す可きである。從來農民が立ちおくれたのは商人的性格が缺如して居たからである、と主張する。

すけれども、私は最中指導するのが愉快になりました。どんな影響がどんな方面に表れるかと云ふ事を色々考へると實際農村指導は容易な事ではないと云ふ事がしみじみ感じられます」



### 鈴木榮太郎

し所謂農道道の振起をもつて農村指導の大本と心得て居る世上農村の指導にあたる者の根本的方針は仔細に觀察して見れば多くは無意識的に右

そこで二人其點を色々論じ合つた末最後に得た結論は今日の農村指導には根底に缺けてゐるものがある。それは農村の都市化に對する指導者の根本的態度が定つて居ないと云ふ事である。其點が出来て居ない爲に今日の農村指導には一貫した方がない、そこに指導者の不安もあるのではあらうと云ふ事であつた。

的合理主義的態度を保持するに至る事である。農村は明かに右の如き意味で都市化しつつある。これは實に大きな變化であるが、云はゞ吾人の面前で刻々に此變化は進みつつある。それをどう觀たらよいか。問題はそこにある。

の二つの見解の何れかに片寄つて居る。或はかくの如き問題には無關心で無意識的に相矛盾する對策を同時に行つて居る。農村指導者が自己の指導の影響を眞剣に考へ出した場合不安を感じるのは實に右の如き見解に對するはつきりした腹が決してゐないからである。然らばどう觀たらよいか。敢て讀者の疑念を促したい我、農村社會學研究家